

記 述

昭和七年

茨城縣統計書第二編

學事ノ部

管内學事ノ狀況

總 說

本縣ニ於ケル學事施設ノ狀況ハ大體從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩ヲ進メ之ガ發達進歩ヲ期シツツアリト雖時勢ノ推移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ必要トスル所アルヲ認メ初等教育、師範教育、實業教育、社會教育等夫々内容ノ刷新充實ヲ圖リ其ノ實蹟ヲ收メムコトニ努メタリ、即チ兒童ノ増加ニ伴ヒ地勢ノ事情ト市町村財政トヲ參酌シ教育資金ノ貸付、基本財産ノ繰入ニ夫々便宜ヲ與ヘ以テ校地ノ擴張、校舍ノ増改築、教授用器具機械等ノ設備ノ改善充實ヲ圖リツツアリ、又教員講習會、研究會、協議會ヲ開催シ教職員ノ素質ノ改善ト資格ノ向上、學力技能ノ修練トニ努メツツアリ、而シテ之ガ監督指導ヲ周到ナラシムル爲學事指導員ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給並年功加俸ノ増額、疾病療治料ノ給與、功勞者ノ表彰ヲ行ヒ教員優遇ノ實ヲ舉ゲムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發展ヲ圖ラムガ爲圖書館又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵シ展覽會、講話會、講習會ヲ開催セシメ青年團ニ就キテハ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智徳ノ練磨ト體育ノ向上トヲ圖リ日進ノ大勢ニ遅レザラムコトヲ期シツツアリ尙補習教育發達ニ順應シテ益々善良ナル氣風ヲ養成スルト共ニ思想ノ善導ヲ圖ラムガ爲各地ニ於テ青年幹部講習會、處女講習會等ヲ開催シ青年訓練所ニ在リテハ常ニ精神ノ修養ト身體ノ鍛練トニ意ヲ用ヒ兵營ノ參觀、行軍、演習見學等ヲナシ其ノ歸趨ヲ過ラシメザルコトニ努メタリ、少年團ニ於テハ常ニ學校職員指導ヲナシ火防宣傳、公德箱ノ設置等共同一致ノ精神、公德心ノ養成ニ努メ成人教育ニ關シテモ名士ヲ聘シ各種階級者ヲ網羅シ年年之ガ施設ヲナシツツアリ更ニ學校教育ト社會教育乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテハ常ニ其ノ交渉ヲ密接ナラシメ互ニ裨補提携シテ其ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツツアリ又視學打合會、各學校長會、其ノ他學事關係職員會ヲ開催シテ學事上ノ施設監督指導等ニ關スル指示協議ヲ、ナシ苟モ遺漏ナカラシムルコトニ努メタリ

本年度内ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレバ次ノ如シ

縣

令

茨城縣女子師範學校學則中改正
茨城縣立高等女學校學則中改正

(昭和七年四月五日)
(縣令第一六號)
(昭和七年四月二十六日)
(縣令第二一號)

- 茨城縣立學校授業料及入學考査料徵收規則中改正 (昭和七年七月十二日) (縣令第三三號)
- 市町村小學校教員加俸給與細則中改正 (昭和八年一月二十七日) (縣令第一號)
- 茨城縣立高等女學校學則中改正 (昭和八年三月三十日) (縣令第五號)
- 茨城縣立農業學校學則中改正 (昭和八年三月三十日) (縣令第六號)

訓 令

- 實業教育職員職務規程 (昭和七年四月六日) (縣訓令甲第一〇號)
- 野球ノ統制並施行ニ關スル件 (昭和七年四月二十日) (縣訓令甲第一五號)
- 茨城縣公立學校圖書館職員旅費支給規則中改正 (昭和七年四月二十六日) (縣訓令甲第一六號)
- 教育精神作興ニ關スル件 (昭和七年七月十五日) (縣訓令甲第二〇號)
- 茨城縣公立學校圖書館職員旅費支給規則中改正 (昭和七年七月二十二日) (縣訓令甲第二一號)
- 市町村立小學校長及正教員命免並補職ニ關スル辭令ノ件 (昭和七年七月二十六日) (縣訓令甲第二二號)
- 市町村立私立學校又ハ幼稚園ノ建物變更及校舍假用ニ關スル訓令中改正 (昭和七年八月十九日) (縣訓令甲第二四號)
- 學事年報取調條項及諸表報告規程中改正 (昭和七年十二月十九日) (縣訓令甲第三四號)
- 兒童生徒ニ對スル校外生活指導ニ關スル件 (昭和八年二月一日) (縣訓令甲第一號)
- 實業教育職員職務規程中改正 (昭和八年三月二十四日) (縣訓令甲第四號)
- 學事年報取調條項及諸表報告規程中改正 (昭和八年三月二十七日) (縣訓令甲第五號)

告 示

- 茨城縣師範學校生徒學資貸與規程 (昭和七年四月五日) (縣告示第一八八號)
- 小學校教員試驗檢定施行 (昭和七年四月十六日) (縣告示第二二三號)
- 小學校教員檢定試驗參考書中變更 (昭和七年五月六日) (縣告示第二六七號)
- 鹿島郡若松村若松東尋常小學校位置變更 (昭和七年五月二十日) (縣告示第二九九號)
- 昭和七年度巡回書庫開設 (昭和七年五月三十一日) (縣告示第三三三號)
- 多賀郡豐浦町豐浦尋常高等小學校砂澤分教場廢止 (昭和七年六月三日) (縣告示第三四二號)
- 那珂郡上野村上野尋常高等小學校位置變更及全宇留野分教場廢止 (昭和七年七月一日) (縣告示第三八七號)
- 昭和七年度夏期文庫開設 (昭和七年七月八日) (縣告示第四〇三號)
- 筑波郡久賀村濱田尋常高等小學校位置變更 (昭和七年十二月十六日) (縣告示第六九二號)
- 久慈郡黑澤村上野宮尋常小學校ニ分教場設置 (昭和七年十二月十六日) (縣告示第六九三號)
- 多賀郡高岡村若栗尋常小學校位置變更 (昭和七年十二月二十三日) (縣告示第七〇六號)
- 昭和七年度小學校教員臨時試驗檢定施行 (昭和七年十二月二十四日) (縣告示第七〇七號)
- 久慈郡諸富野村諸富野尋常高等小學校位置變更 (昭和七年十二月二十七日) (縣告示第七一九號)
- 茨城縣立取手園藝學校名稱變更 (昭和八年三月二十二日) (縣告示第一二八號)

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ三十萬二千五十七人ニシテ内男十五萬一千九百三十人、女十五萬百二十七人ナリ之ヲ前年ニ對比スレバ男四千九百十八人、女四千七百八十人ヲ増加セリ而シテ就學兒童總數ハ二十五萬八千九百七十三人ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ男三千七百八十八人、女三千九百七人ヲ増加シタリ、就學始期ニ達シタル學齡兒童ニ對スル就學歩合ヲ觀ルニ男九十九人六分、女九十九人四分、平均九十九人五分ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ男ニ於テ二厘ヲ減ジタルモ女ニ於テ四厘、平均ニ於テ一厘ノ増加ヲ示セリ、就學及出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規並通牒ノ定ムル所ニ依リ或ハ町村吏員、學校職員、學務委員ヲ督勵シ缺席及不就學兒童ノ家庭ヲ訪問シ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學齡兒童保護會、町村教育會、保護者會、少年團等ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ニ從事セシムル等各種機關ヲ通ジ之ガ實行ニ努メツツアリ、就學ノ猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノノ大部分ハ其ノ原因疾病不具者ニシテ貧困ニ原因スル者少ク之等貧困兒童ノ救濟ニ關シテハ兒童就學獎勵規程ヲ設定シ各市町村ヲシテ相當經費ノ支出ヲナサシメ縣ニ於テモ補助金ヲ交付シ救濟方法ノ徹底ヲ圖ルト共ニ就學出席ノ督勵ニ努力シツツアリ

就學猶豫並免除者ヲ種別スレバ次表ノ如シ

		市			町			村			計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
疾病	猶免	6	7	13	49	50	99	121	107	228	176	164	340
	豫除	—	—	—	25	27	52	102	102	204	127	129	256
貧困	猶免	—	—	—	1	—	1	2	5	7	3	5	8
	豫除	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	1
計	猶免	6	7	13	50	50	100	123	112	235	179	169	348
	豫除	—	—	—	25	27	52	102	103	205	127	130	257

學齡兒童ノ調査ニ關シテハ隨時吏員ヲ市町村ニ派シ戸籍簿、學齡簿、學籍簿、出席簿、其ノ他就學事務ノ檢閲ヲ行ヒ指示及注意ヲ與ヘ努メテ帳簿ト實際トノ一致ヲ圖ラシメムコトニ努メタリ尙小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノノ内師範學校附屬小學校ニ於テ修業スル者ハ男三百九十四人、女四百三十四人ニシテ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者男二十人、女二十二ナリ

小 學 校

小學校ハ市町村立尋常小學校百三十五校、分教場六校、尋常高等小學校三百九十七校、分教場百十校、計六百四十八校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ尋常小學校ニ於テ二校ヲ減

シ同分教場ニ於テ一校ヲ増加シ、尋常高等小學校ニ於テハ二校増加シタルモ同分教場ニ於テ二校ヲ減少セリ、學校ノ設備ニ在リテハ年年督勵ノ結果漸次完備ニ達セムトシツツアルモ教育ノ進展ト逐年兒童ノ増加トニ伴ヒ校舍ノ増築、改築、校地ノ擴張、教授用具ノ充實ヲ要スルモノ尙尠カラズ市町村立小學校ノ學級ハ尋常科四千二百五十九學級、高等科八百八十八學級、補習科一學級、計五千四百四十八學級ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ七十五學級ヲ増加セリ、而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單學級ヨリ三十八學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ十二學級之ニ亞ギ高等科ハ單學級ヨリ十六學級ノモノニシテ内最多ナルハ二學級ニシテ單學級之ニ亞ゲリ、又制限超過編制ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十六學級一校、二十八學級四校、二十九學級一校、三十一學級一校、三十二學級一校、三十五學級一校、三十六學級一校、三十七學級一校、三十八學級一校、四十學級一校、四十五學級一校、四十六學級一校ナリ

學校配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニアリ而シテ地方交通ノ發達ト共ニ兒童ノ通學道路ヲ改修シ又ハ學校敷地ノ位置變更ヲナス等常ニ努メツツアルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メズ

補習科ノ設置シアルハ尋常高等小學校一校ニシテ前年ニ比シ増減ナシ
 加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ六十九校、同分教場二校、計七十一校、尋常高等小學校ニ於テ尋常高等兩科トモ課シ尋常科手工、高等科英語ヲ課スルモノ十六校、同分教場一校、計十七校、尋常科ノミ手工ヲ課スルモノ二百四十七校、同分教場五十三校計三百校、高等科ノミ英語ヲ課スルモノ二校、總計三百九十校ニシテ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ内容ノ改善ヲ圖リツツアリ

教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セバ次表ノ如シ

學級別	男女別	本科正教員	専科正教員	准教員	代用教員	計	學級ニ對スル本科正教員ノ充實歩合
5,147	男	3,306	207	330	243	4,086	84.20
	女	1,028	318	69	209	1,624	
	計	4,334	535	399	452	5,710	

上表ノ如ク本科正教員ハ四千三百三十四人ニシテ學級數五千四百四十七學級ニ比シ八十四人二分強ノ配當ニ當ル而シテ教員ノ不足並其ノ素質ノ良否ガ兒童教育上ニ及ボス影響頗ル甚大ナルヲ以テ常ニ指導訓練ニ努力シ本科正教員ノ充實向上ニ努メ縣教育會又ハ郡教育會ヲシテ現教員ニ對シ夏期及冬季ニ於テ資格向上養成講習會ヲ開催シ資格ノ向上ト相俟テ素質ノ向上ニ努メ又ハ試験ノ上正教員免許狀ヲ授與シタルト毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ資格ノ向上ヲ計リ需要供給ノ圓滑ヲ計リツツアリ

幼 稚 園

幼稚園ハ公立七、私立十四ニシテ前年ニ比シ二園ヲ増シタリ設備ノ狀況ニ關シ記述スレバ大體公立ニアリテハ小學校ニ附屬シアリ、年年之ガ改善充實ニ努メツツアルヲ以テ完備ノ域ニ達シツツアルモ私立ニアリテハ尙設備ノ改善充實ノ急ヲ要スルモノ尠カラズト認ム、保育狀況ニ關シテモ常ニ保姆ニ研究視察ヲ行ハシメ改善ヲ圖リツツアルヲ以テ良好ナル成績ヲ收メツツアリ、幼兒數ハ男七百七十七人、女七百六十一人ヲ收容シ保姆有資格三十人、無資格二十三人ニシテ保姆一人ニ對シ保育兒童平均二十九人強ニ當ル、入園志願者ハ一千五百三十一人ニシテ逐年増加ノ傾向ニアリ

師 範 學 校

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ニ關シテハ年年改築ヲ行ヒ校具、器具、器械、標本等ニ就テモ逐年整備シ來リシモ尙改善補充ヲ要スルモノアリ、教員ノ需要供給、勤續、轉免等ニ關シテハ執レモ勤續多年ニ亘リツツアリト雖多少ノ異動アルヲ免レズ然レドモ其ノ都度補充ハ極メテ圓滑ニ有資格ノ任用ヲ見ツツアリ待遇ニ關シテハ俸給平均額教諭千三百三十八圓、訓導八百二十七圓ニシテ年功加俸ハ教諭二百一圓乃至九十六圓、訓導百七十九圓乃至三十六圓ヲ支給シ待遇ノ途ヲ講ジツツアリ、有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格		總 計								
	無 試 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ										試 驗 檢 定 = 依 ル 者				計		教 員				
	教員養成ノ目 的ヲ以テ設置 シタル官立學 校卒業者		文部大臣 ノ指定シ タル者		文部大臣 ノ許可シ タル者		高等學校 免狀有 スル者		實業學校 免狀有 スル者				其ノ他ノ 經歷ニ依 ル者						計		教 員
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
天城縣師範學校	8 △ 1 ×△ 1		14		1						2		4		29 △ 1 ×△ 1		3 △ 4 ×△ 4		29 △ 4 ×△ 5		
天城縣女子師範學校		4	3	4	2	× 1						1	△ 1 × 1	1	11 △ 1 × 2		2 △ 2 ×△ 2		11 △ 1 × 2 ×△ 2	7	
計	12 △ 1 ×△ 1		3	18	2	× 1						2	1	5 △ 1 × 1		40 2 2 ×△ 1		3 △ 6 ×△ 6		40 5 2 ×△ 7	7

×印ハ兼務者 △印ハ囑託講師

生徒訓育ニ就キテハ教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ヲ奉戴シ大體從來ノ方針ニ則リ學校長及教員ハ必要アル毎ニ訓誨ヲ與ヘ生徒ノ自覺修養ヲ促シ、校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タルノ品性陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且體育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ、身體ノ鍛練ト健康ノ増進トヲ圖リツツアリ、生徒教練ニ關シテハ本科第一

部第五學年生徒ノ夏季二週間、同第四學年及第二部生徒ノ冬季一週間ノ軍事講習ハ共ニ必身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ヲ得セシメ其ノ成績特ニ顯著ナルヲ認ム、又生徒ニ於テモ良ク其ノ趣旨ヲ理解シ校風振作上ニ良好ナル影響ヲ與ヘツツアリ

生徒ノ學業ニ就テハ自學自習、自發的活動ニ訴ヘテ研究的態度ヲ養成シ寄宿舎、圖書室ハ勿論學科教室ニモ參考書ヲ備ヘ隨時研究ニ意ヲ注ギ實驗實習ヲ重ンジ特ニ課外研究ノ制ヲ設ケ實地ノ見學ヲナサシメ實際的智識技能ヲ啓培シ興味ト努力トヲ喚起スル様指導シツツアルヲ以テ學業ノ進歩ノ跡見ルベキモノアリ

修學旅行ハ地理、歴史、理科其ノ他人情風俗ニ關スル一切ノ實地踏査、博物、植物ノ採取、觀察ノ目的ヲ以テ關西、關東、東北ノ各方面ニ旅行シ又ハ縣下ニ於ケル重要個所ヲ踏査シ學校ノ參觀、鑛物地質研究、史蹟調査ヲナシ特ニ郷土ノ研究ニ關シテハ郷土館、郷土園ヲ設置シ研究ヲナシ豫定ノ目的ヲ達シ其ノ效果ヲ大ニ收メタリ

入學志願者ハ八百五十八名ニシテ前年ニ比シ稍少キ感アルモ募集者減少シタル爲之ガ入學率ハ十九人強ノ狀況ニアリ昭和三年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次表ノ如シ

		昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度
茨城縣師範學校	第一部	543	658	517	403	288
	第二部	432	454	542	262	351
	專攻科	56	42	28	31	32
茨城縣女子師範學校	第一部	378	438	302	236	181
	第二部	123	139	157	102	—
	專攻科	10	10	5	11	6
合計	第一部	921	1,096	819	639	469
	第二部	555	593	699	364	351
	專攻科	66	52	33	42	38

入學者父兄ノ職業別ハ次表ノ如シ

學校名	農業	水産業	鑛業	工業	商業	交通業	公務		家事	其ノ他ノ有業者	無職業	計
							自由業	使用人				
茨城縣師範學校	24	—	—	—	2	—	11	—	—	—	3	40
	40	—	—	2	4	—	8	—	—	—	5	59
	17	—	—	1	2	—	8	—	—	—	3	31
茨城縣女子師範學校	9	—	1	2	9	—	5	—	—	—	4	30
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	6
合計	33	—	1	2	11	—	16	—	—	—	7	70
	40	—	—	2	4	—	8	—	—	—	5	59
	21	—	—	1	3	—	8	—	—	—	4	37

本年度卒業生ハ師範學校本科第一部百十人、第二部三十人、專攻科三十二人、女子師範學校本科第一部七十二人、第二部三十人、專攻科六人ニシテ内男子師範ニ於テ專攻科入學三人、高等師範學校入學一人、女子師範ニ於テ專攻科入學一人アリタル外縣下各小學校ニ就職シタリ附屬小學校ハ二校ニシテ前年迄ハ村立代用附屬小學校一校アリタルモ本年ハ之ヲ廢止シタリ其ノ設備ニ就テハ年年改善ノ結果稍完備ノ域ニ達シツツアリ、

兒童ノ教育ニ關シテハ大體從來ヨリノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシテ智識技能ヲ確實ニ收得セシメ自學自習ノ態度ヲ養成スルニ努メ教授學習ノ徹底ヲ期セシメタリ尙現今ノ教育學說ヲ斟酌シ教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ト衛生的方面ニ留意シ品性陶冶ニ努メ家庭トノ連絡ニ就テハ保護者會ノ活動ヲ促シ機會アル毎ニ來校セシメ又ハ家庭ヲ訪問シ雜誌ヲ發行シ印刷物ヲ配付シ通信ヲナス等協力的ニ兒童教養ニ努メツツアリ又教員ハ地方諸會合ニ講師トシテノ招聘ニ應シ主事及訓導ハ講話會或ハ實地指導ニ出張シ又ハ地方ヨリ來觀スルモノ一層増加ノ傾向ニアリ尙縣下各小學校ノ聯合教育研究會ヲ開催シ種種ノ共同研究指導ヲナス外青年會、處女會ノ講習講話ニ出張スル等社會教育方面ニモ貢獻シツツアリ

中 學 校

中學校ハ縣立十校、私立一校ニシテ其ノ設備ノ狀況ハ年年之ガ改善充實ヲ圖リツツアルヲ以テ校舍及教授用器具器械等漸次整備ノ域ニ達シツツアリ
 教員ノ需要供給勤續轉免等ニ關シテハ異動者比較的少ナク、供給ハ過剩ノ状態ニアリ補充容易ニシテ極メテ圓滑ニ有資格教員ヲ採用シツツアリ本年度俸給額ハ教諭千三百一圓ニシテ年功年俸ハ二百一圓乃至九十六圓ヲ支給シツツアリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ヲ舉グレハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格		總 計								
	教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル卒業生		無 試 驗 檢 定				依 ル モ ノ				試 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ				計		教 員				
			文部大臣ノ指定シタル者		文部大臣ノ許可シタル者		高等學校免許狀有スル者		實業學校教員免許狀有スル者												
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女						
天城縣立水戸中 學	5 △ 1 × 3	—	3	—	8 △ 2	—	1	—	—	—	—	—	—	10	—	27 △ 3 × 3	—	2 △ 3	—	29 △ 6 × 3	—
天城縣立太田中 學	4 × 1	—	3	—	6	—	1	—	—	—	—	2	—	4 △ 1	—	20 △ 1 × 1	—	1 △ 4	—	21 △ 5 × 1	—
天城縣立土浦中 學	4	—	2 × 1	—	4	—	1	—	1	—	—	3 △ 1	1	5 △ 1	—	20 △ 1 × 1	1 △ 1	1 × 2	—	21 △ 3 × 1 × 2	△ 1
天城縣立下妻中 學	2 × 1	—	1 × 1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	6	—	21 × 1 × 1	—	1 △ 3	—	22 △ 3 × 1 × 1	—
天城縣立龍ヶ崎 中 學 校	7 × 1	—	3	—	4	—	—	—	—	—	—	—	1	4 △ 1	—	19 △ 1 × 1	—	5 △ 5	—	19 △ 6 × 1	—
天城縣立水海道 中 學 校	5 △ 1 × 1	—	4	—	3 × 1	—	2	—	—	—	—	—	—	4	—	18 △ 1 × 2	—	4 △ 4	—	18 △ 5 × 2	—
天城縣立鉢田中 學	8 × 1	—	1 △ 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	14 △ 1 × 1	—	3 × 3	—	14 △ 1 × 1 × 3	—
天城縣立日立中 學	7 × 1	—	1	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	4	—	15 × 1	—	3 △ 3	—	15 △ 3 × 1	—

學 校 名	有 資 格 教 員										無 資 格		總 計					
	教員養成ノ目 的ヲ以テ設置 シタル校卒業 者		無 試 驗 檢 定		二 依 ル モ ノ		其ノ他 ノ 經 歴 ニ 依 ル モ ノ		試 驗 檢 定 ニ 依 ル モ ノ		計				教 員			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			男	女		
茨城縣立境中 學 校	5 × △	1 △	5 ×	1 △	1	—	—	—	—	—	—	2 △	1 △	1 ×	1 △	13 △	1 ×	13 ×
茨城縣立麻生中 學 校	3 ×	1 △	2 △	1 △	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	9 △	1 ×	9 ×
私立茨城中學校	5 △	1 △	1	—	3 ×	1 △	—	—	—	1	—	—	—	3	—	13 △	1 ×	16 ×
計	55 △	3 ×	35 △	2 ×	35 △	2 ×	7	—	2	—	6	△	1	49 △	—	189 △	11 ×	197 ×
	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	×	△	×

× 印ハ兼務者 △ 印ハ講師

生徒ノ訓育ニ就テハ從來ノ方針ニ則リ品性ノ陶冶ニ努メ華奢輕薄ノ風ヲ去リ質實剛健ノ氣風ヲ涵養シ義務責任ヲ重ンジ實踐ヲ督勵シ思想ノ善導ニ就キテハ常ニ世態ノ風潮ニ省ミ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ教員ノ示範誘導ヲナシ各教科ト家庭トノ連絡ヲ計リ、又ハ出身學校、社會各方面トノ連絡協調ニ留意シ服裝容儀ニ於テモ訓育上ノ影響甚大ナルヲ以テ常ニ注意シ訓育ノ徹底ニ努メ萬遺憾ナキヲ期シツツアリ

生徒ノ教練ニ關シテハ銳意其ノ目的ノ達成ニ努メ特ニ修身科ノ教授及一般訓育ニ連繫シ之ガ實現ヲ期シツツアルヲ以テ多大ノ效果ヲ收メタルモノト認ム

生徒學業ニ關シテハ教授ノ改善進歩ヲ圖リ圖書、器械、標本、器具ヲ購入シ且自學自習ノ趣味ヲ涵養シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵スルト共ニ夏季、冬季ノ休暇ヲ利用シ特別教授ヲ施シ尙學業不進ノ生徒ニハ特別復習教授ヲナス等學力ノ向上ニ努メ又體育獎勵ニ就テハ常ニ意ヲ用ヒ身體各部ノ圓滿ナル發達ヲ圖リ相當其ノ效果ヲ收得シタルモノト認ム

本年度入學志願者ハ千七百七十八人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千四百四十四人ナリ之ガ入學率ハ六十四人強ニシテ昭和三年度以降ノ入學志願者ヲ示セバ次ノ如シ

年 度	昭 和 三 年	昭 和 四 年	昭 和 五 年	昭 和 六 年	昭 和 七 年
本 科	2,466	2,108	1,934	1,689	1,778

入學者父兄ノ職業別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務		家 事	其ノ他	無 職 業	計
							自由業	使用人				
茨城縣立水戸中學校	× 33 1	3	—	9	40	× 4 1	90 × 16 △ 1	—	—	× 22 6 △ 1	× 201 24 △ 2	
茨城縣立太田中學校	× 58 2 △ 2	1	—	10	× 21 3 △ 2	4	× 39 1 △ 2	—	—	× 4 4	× 137 10 △ 6	
茨城縣立土浦中學校	× 54 4 △ 1	× 3 1	—	4	29	1	× 47 1 × 2	—	—	× 9 1	× 147 1 × 8 △ 1	
茨城縣立下妻中學校	× 69 3	—	—	× 11 2	20 ○ 1	1	× 40 1 × 3 ○ 1	—	—	8	× 149 1 × 8 ○ 2	
茨城縣立龍ヶ崎中學校	× 68 1	—	—	10	× 27 1	3	× 33 3 △ 1	—	—	7	× 148 5 △ 1	
茨城縣立水海道中學校	× 48 1 △ 1	—	—	13	× 14 1	△ 3 1	× 31 3	—	—	4	× 113 5 △ 2	
茨城縣立鉾田中學校	× 40 2 ○ 1	—	—	5	× 15 3	4	× 13 1	—	1	2	× 80 6 ○ 1	
茨城縣立日立中學校	× 27 2	2	5	27	× 18 1	× 1 1	× 18 2	—	—	4	× 102 6	
茨城縣立境中學校	21	—	—	3	11	—	× 14 3	—	—	× 3 1	× 52 4	
茨城縣立麻生中學校	23	—	—	1	× 19 1 ○ 1	—	× 7 2	—	—	2	× 52 3 ○ 1	
立 茨 城 中 學 校	× 18 2 ○ 5	1	1	× 7 2 ○ 1	× 17 3 ○ 1	—	× 14 7 ○ 4	—	2	○ 5 1	× 65 14 ○ 12	
計	× 459 18 △ 4 ○ 6	× 10 1	6	× 100 4 ○ 1	× 231 12 △ 2 ○ 3 * 1	× 12 2 △ 1	× 346 41 △ 4 ○ 5 * 4	—	3	× 70 12 △ 1 ○ 1	× 1,246 90 △ 12 ○ 16 * 5	

× 印ハ第二學年以上へ轉入學者、* 印ハ第一學年へ轉入學者、△ 印ハ再入學者、○ 印ハ補欠入學者

中學校生徒將來ニ於ケル希望ノ狀況ニ就テハ時代ノ趨勢ニ伴ヒ上級學校ノ入學ヲ希望スルモノ大部分ヲ占メ卒業後直ニ實業ニ就カムトスルモノ年年減少ノ傾向ニアリ第四、五學年生ノ希望狀況ヲ示セバ別表ノ如シ

私立中學校ノ設備ニ就テハ銳意之ガ整備充實ニ努メ教授用器具、器械ハ勿論校具ニ於テモ内容ノ完備ニ努力ヲ拂ヒタル結果現今ニ於テハ教授上何等支障ナキニ至レリ生徒ノ訓育ニ就テハ水戸學ノ精神ヲ以テ經トシ報恩感謝ノ精神ヲ緯トシ教職員一致協力訓育ニ努メツツアルヲ以テ漸次其ノ成績モ向上シアリ特ニ配屬將校ヲ生徒監トシ甚大ナル注意ヲ拂ヒツツアリ

生徒學業ニ就テハ創立日尙淺シト雖教員ノ熱心ナル教授ニ依リ生徒ニ於テモ自學自

習ニ努メツツアルヲ以テ上級學校ノ入學率ハ非常ニ良好ニシテ學業進歩ノ跡大ニ認ムヘキモノアリ

高等女學校

高等女學校ハ縣立六校、市立一校、私立二校ニシテ實科高等女學校ハ町立五校、組合立三校、私立一校ナリ、其ノ設備ニ就テハ各校共年年之ガ充實ニ努メ作法、裁縫、制烹室ノ改善其ノ他圖書、器械、器具ノ購入等着着完備ノ域ニ達シツツアルモ尙町村立、私立ニアリテハ改善補充ヲ要スルモノ尠カラズ

教員ノ需要供給勤續轉免ニ關シテハ一般ニ異動少ク退職者アル毎ニ有資格教員ノ任用ヲ見極メテ圓滑ニ運ビツツアリ待遇ニ關シテハ縣立及市立ハ良好ナルモ町村立、私立ニアリテハ尙改善ヲ要スル所少カラザルヲ以テ年年向上ニ努メツツアリ、俸給ハ平均額教諭千五十八圓、年功加俸ハ二百四圓乃至六十圓ヲ支給シツツアリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學校名	有資格教員														無資格		總計					
	教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校卒業者		文部大臣ノ指定シタル者		文部大臣ノ認可シタル者		高等學校高等科免狀ヲ有スル者		實業學校免狀ヲ有スル者		其ノ他ノ經歷ニ依ル者		試驗檢定ニ依ルモ		計		無資格教員		總計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
茨城縣立水戸高等女學校	5	3	1	—	3	—	—	—	—	—	1	8	1	1	11	12	△	1	—	—	11	12
茨城縣立土浦高等女學校	2	5	5	—	2	4	—	—	—	—	—	—	3	2	12	11	—	—	—	—	12	11
茨城縣立下館高等女學校	1	2	2	—	1	5	—	—	—	—	—	1	2	1	6	9	*	2	—	—	6	9
茨城縣立水海道高等女學校	—	1	1	—	3	4	—	—	—	—	—	—	2	—	6	5	*	1	△	1	6	5
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	2	3	2	—	1	2	—	—	—	—	—	—	1	—	6	5	△	1	—	—	6	5
茨城縣立太田高等女學校	1	3	1	—	1	—	—	—	—	3	—	—	4	—	7	6	×	1	—	—	7	6
茨城縣水戸市立高等女學校	2	2	1	—	2	3	—	—	—	—	—	—	2	—	7	5	×	1	1	—	8	5
私立東海高等女學校	—	—	—	—	3	4	—	—	—	—	—	—	2	—	3	4	△	1	—	—	3	4
私立大成高等女學校	—	—	2	—	1	3	—	—	1	—	—	—	1	—	4	3	*	1	—	—	5	3

學校名	有資格教員										無資格		總計						
	教員養成ノ目的ヲ以テ官立學校ノ卒業生		大臣ノ指定シタル者		大臣ノ認可シタル者		高等學校ヲ卒業スル者		實業學校ノ免狀ヲ有スル者		試験檢定ニ依ルモノ		計		無資格教員		總計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
計	13 ○ ×5	19 △1	15 ×1	—	16 ×3 ×△1	25 ×△1	—	—	1	3	1	9 ×2 ×△1	4	62 ○1 ×11 ×△2	60 ×△2	2 *4 ×△3	—	64 ○ *4 ×4 ×11 ×△5	60 ×△3
茨城縣石岡實 高等女學校	—	—	1	—	1	2	—	—	—	—	—	1	—	2	3 ×△2	*2 ×△2	—	2 *2 ×△2	3
茨城縣鉾田實 高等女學校	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1 ×△2	4
茨城縣古河實 高等女學校	—	2	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2	3 ×△4	1 *1	—	3 ×△4	3 *1
茨城縣下妻實 高等女學校	×1	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	×1	4	*2 1 ×1	—	1 *2 ×2	4
茨城縣取手實 高等女學校	×1	2	—	1	2	2	—	—	—	—	—	—	—	×1	6	—	—	6 ×1	2
茨城縣岩井實 高等女學校	—	—	1	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	3	2 ×△2	×△1	—	3 ×△2	2 ×△1
茨城縣松原實 高等女學校	—	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	4	3	*1	—	4 *1	3
茨城縣結城實 高等女學校	—	—	1	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	3	3 ×*1	*1	—	3 *1 ×*1	3
私立好文實科 高等女學校	—	—	×△2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	×△4	2	*1	2	2 *1 ×△4	5
計	×2	2	6 ×△2	2	9	21	—	—	—	—	—	×△1	1	23 ×2 ×△4	27 ×*1 ×△10	*7 ×1 ×△1	2 *1	25 *7 ×3 ×*1 ×△14	29 *1 ×△1
合計	○15 ×7	21 ×△1 ×△2	21 ×1	—	25 ×3 ×△1	46 ×△1	—	—	1	3	2 ×△1	10 ×2 ×△2	5	85 ○1 ×13 ×△6	87 ×△2	*11 ×1 ×△4 ×*1 ×△13	2 *1 ×△2	89 ○1 *11 ×4 ×14 ×*1 ×△19	89 *1 ×△4

×印ハ兼務者、*印ハ本科正教員ノ免許狀ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スル者、△印ハ講師、○印ハ有資格ノ教諭心得

生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ基キ學校ト家庭トノ連絡ヲ保チ生徒ノ道德、意識涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ養成ニ努メ情操ノ陶冶ト思想ノ善導ニ留意シ一面溫良貞淑ニシテ志操堅實タル婦徳ノ養成ニ特ニ力ヲ用ヒツツアリ

生徒ノ學業ニ就テハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解ヲ與ヘ有效ナル陶冶ヲナサムトシテ自學自習的態度ヲ一層旺盛ナラシメ熱心眞摯ナル研究心ノ養成ニ努メ教授方針ノ確立、教授方法ノ研究ヲナシ、教室ヲ半特別學科教室トシ自學主義ヲ鼓吹シ特ニ閱覽圖書指導自學研究室ノ設置等改善ヲ加ヘツツアルヲ以テ進歩ノ跡見ルヘキモノアリ

入學志願者ニ關シテハ公私立ヲ通シ二千九十八人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ千四百十三人ナリ之ガ入學率ハ六十七人強ニ當レリ

本年度入學者父兄ノ職業別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他 ノ有業 者	無職業	計
茨城縣立水戸高等女學校	31 × 3	3	—	21 × 1	58 × 4	8 * 1	63 * 4 × 7	—	—	26 × 3	201 * 5 × 18
茨城縣立土浦高等女學校	70 * 1 × 3	—	—	11	67	—	44 × 6 △ 1	—	—	12 * 1 × 2	204 * 2 × 11 △ 1
茨城縣立下館高等女學校	48 × 1	—	2	9	41	4 × 1	46 * 1 × 3	—	2	7 × 2	159 * 1 × 7
茨城縣立水海道高等女學校	48	—	—	10	20	2	19 × 1	—	—	5	104 × 1
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	55 △ 1	—	—	6 × 1	18	—	16 * 1 × 4	—	—	1	95 * 1 × 5 △ 1
茨城縣立太田高等女學校	28 × 1	—	—	3	26	—	38 * 1 × 1	—	—	5	100 * 1 × 2
茨城縣水戸市立高等女學校	11	1	—	13	30	1	41 * 3 × 9	—	—	7	104 * 3 × 9
私立東海高等女學校	9 ○ 1	—	—	10 ○ 2 × 1	15 ○ 3	—	8 * 1 × 1	—	—	1	45 * 1 ○ 6 × 2
私立大成高等女學校	8	—	—	3	9	—	16	—	—	4	40
計	308 × 8 * 1 △ 1 ○ 1	4	2	86 × 3 ○ 2	284 × 4 ○ 3	15 × 1 * 1	291 × 32 * 11 △ 1	—	2	68 × 7 * 1	1,060 × 55 * 14 △ 2 ○ 6
茨城縣石岡實科高等女學校	22 × 2	—	—	6	21 × 1	—	3	—	—	× 1	52 × 4

學 校 名	農 業	水産業	鑛 業	工 業	商 業	交通業	公 務 自由業	家 事 使用人	其ノ他 ノ有業 者	無職業	計
茨城縣鉾田實科高等女學校	9 ○ 6 △ 1	—	—	—	4 ○ 2	—	4 ○ 2	—	—	—	17 ○ 10 △ 1
茨城縣古河實科高等女學校	15 ● 2	—	—	4	16 ○ 1	—	7 ○ 1	—	1	—	43 ● 2 ○ 2
茨城縣下妻實科高等女學校	30	—	—	2	9	—	9 × 1	—	—	× 3 1	53 × 2
茨城縣取手實科高等女學校	16 × 1 ○ 2	—	—	2	14 ○ 1	—	8 ○ 1	—	—	1	41 × 1 ○ 4
茨城縣岩井實科高等女學校	4 ○ 15	—	—	○ 1	3 ○ 2	—	1 ○ 5	—	—	—	8 ○ 23
茨城縣松原實科高等女學校	6 ○ 4	○ 1	1 ○ 2	—	6 ○ 2	1	7 × 1 ○ 1	—	—	2	23 ○ 10 × 1
茨城縣結城實科高等女學校	23 * 1 ○ 6	—	—	3	12	—	—	—	1	—	39 * 1 ○ 6
私立好文實科高等女學校	6	—	—	1	3	—	2	—	—	2	14
私立東海高等女學校(實科)	3	1	—	2	5	—	1	—	—	—	12
計	134 × 3 * 1 △ 1 ● 2 ○ 33	1 ○ 1	1 ○ 2	20 ○ 1	93 × 1 ○ 8	1	42 × 2 ○ 10	—	2	8 × 2	302 × 8 * 1 △ 1 ● 2 ○ 55
合 計	422 × 11 * 2 △ 2 ● 2 ○ 34	5 ○ 1	3 ○ 2	106 × 3 ○ 3	377 × 5 ○ 11	16 × 1 * 1	333 × 34 * 11 △ 1 ○ 10	—	4	76 × 9 * 1	1,362 × 63 * 15 △ 3 ● 2 ○ 61

* 印ハ第一學年轉入學者、× 印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者、△ 印ハ全上ニ係ル再入學者、○ 印ハ補缺入學ヲ許可シタル者、● 印ハ第一學年ニ補缺入學者

私立高等女學校ニアリテハ常ニ設備ノ充實ヲ圖リ年年器具、器械、標本等ノ購入ヲナス外教授上萬遺憾ナキヲ期シツツアリ、教員ノ需要供給轉免其ノ他ニ關シテモ常ニ待遇ノ途ヲ講ジツツアルヲ以テ轉任者少ク相當有資格教員ヲ任用シツツアリ

生徒訓育ニ就テモ教育ニ關スル聖旨ヲ奉戴シ婦徳ノ涵養ニ努メ溫順、貞淑、親和、快活ニシテ而モ進デ勤勞ニ當ル美風ヲ養ヒ常ニ生徒ノ個性ニ留意シ家庭ノ實情ヲ調査シ善美ナル校風ノ發揚ヲ促シ以テ實蹟ヲ舉ゲムコトニ努メツツアリ

生徒學業ニ就テハ教員ノ熱心ナル指導ト生徒ノ自覺發奮トニ依リ進歩著シキモノアリ、常ニ學級單位ノ成績品展覽會ヲ開キ以テ鼓舞獎勵ヲ與ヘ又ハ各教室毎ニ各種辭書或ハ圖書ヲ設備シ自學自習ヲ獎勵シツツアルヲ以テ全般ニ研究勉學ノ氣風ノ旺盛ナルモノアリ

實 業 學 校

實業學校ハ總數十八校ニシテ之ヲ前年ニ對比スレバ一校ヲ増加シタリ、設立者別ニスレバ縣立十四校、組合立二校、町立一校、私立一校ナリ、尙之ヲ實業學科別ニ區別スレバ工業學校ノ縣立一校、農學校ハ縣立九校、組合立一校、商業學校ハ縣立四校、職業學校ハ組合立一校、町立一校、私立一校ナリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ヲ示セバ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員												無資格教員				總 計							
	學 位 有 者		大 學 卒 業 士 又 ハ 下 科 目		文 部 大 臣 指 定 者		文 部 大 臣 認 可 者		高 等 學 校 教 員 免 許 狀 有 者		師 範 學 校 高 等 師 範 學 校 教 員 免 許 狀 有 者		實 業 學 校 免 許 狀 有 者		計				其 他					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計			
茨城縣立工業學校	—	—	1	—	10	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	1	—	—	—	17	1	18	
													×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△
全 水戸農學校	—	—	×	3	×	6	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	20	—	20	
													△	2	△	1	△	1	△	1	△	3	△	4
													×	△	×	△	×	△	×	△	×	3	×	4
全 石岡農學校	—	—	×	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	10	—	10	
													—	—	—	—	△	1	×	2	×	1	×	2
													—	—	—	—	×	2	×	2	×	1	×	2
全 眞壁農學校	—	—	—	—	×	1	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	10	—	10	
													—	—	—	—	△	1	×	1	×	1	×	1
													—	—	—	—	×	1	×	1	×	1	×	1
全 江戸崎農學校	—	—	—	1	—	5	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	10	—	10	
													×	1	—	—	×	2	×	2	×	1	×	2
													—	—	—	—	×	2	×	2	×	1	×	2
全 結城農學校	—	—	×	1	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	6	—	7	
													—	—	—	—	△	2	×	1	×	2	×	2
													—	—	—	—	×	1	×	2	×	1	×	2
全 取手農學校	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	10	—	10	
													×	1	—	—	×	1	×	1	×	1	×	1
													—	—	—	—	△	2	×	1	×	1	×	1
全 鹿島農學校	—	—	×	1	—	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	7	—	7	
													—	—	—	—	×	1	×	1	×	1	×	1
													—	—	—	—	×	1	×	1	×	1	×	1
全 大子農學校	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	7	—	7	
													×	1	—	—	×	2	×	2	×	1	×	1
													—	—	—	—	×	2	×	2	×	1	×	1
全 笠間農學校	—	—	×	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	7	
													—	—	—	—	×	1	×	1	×	1	×	1
													—	—	—	—	×	1	×	1	×	1	×	1
茨城縣小瀬農學校	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	6	—	7	
													—	—	—	—	△	1	△	1	△	1	△	1

考 査 生 徒 數	及 第 者 總 數	及 第 生 徒 百 分 率	本 科 總 平 均 点
382	368	96.33	71.6

修學旅行及實習ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ智識ノ開發ヲ圖ル爲專ラ實務ノ練習
 ニ力ヲ致シ應用化學科ニ在リテハ理科實驗、電氣化學、釀造分析實習應用化學實習ヲナ
 シ機械科ニ於テハ木形、鑄物、鍛工仕上ノ實習、原動機ニ關スル實驗ヲナシ、實際的の技能ノ
 發達ニ努メ生徒各自モ又趣味ヲ以テ種種研究シ殊ニ本年ハ暑中休暇ヲ利用シ各自隨
 意ノ作品ヲ製作セシメ賞讃スル値アルモノ多シ又關西、關東各地ニ旅行シ會社、工場等
 ニ實地作業及設備ノ狀況ヲ視察シ工業上ノ實際的の智識ノ收得ニ努メタリ
 本年度募集人員ハ各科四十五人ナリシガ入學志願者二百一人ニ達シ選抜考査ノ結果
 應用化學科四十人、機械科四十一人ノ入學ヲ許可シタリ
 卒業生ノ就職ニ關シテハ學校長、職員ハ機會アル毎ニ管内外ニ出張シ各官衙、會社、工場
 等ヲ訪問シ地方産業ノ狀況ヲ觀察シ又卒業生勤務ノ狀況ヲ聽取シ教授ノ參考ニ資ス
 ルト同時ニ本校内容ヲ紹介シ新卒業生ノ採用方ヲ依頼スル方針ヲ執リツツアルヲ以
 テ各種會社、工場等ニ就職シツツアリ
 實業トノ關係ハ地方當業者ト連絡ヲ保チテ鑑定竝ニ分析質疑ノ外各種ノ製作註文等
 ニモ應シ斯業助長ニ多大ナル效果ヲ與ヘタルモノト認ム
 農學校ハ縣立九校、組合立一校ニシテ其ノ設備ニ就テハ年年其ノ充實ニ努メツツアル
 ヲ以テ内容外觀共漸次改善セラレ完備ノ域ニ達シツツアリ
 教員ノ需要供給ニ關シテハ各校共異動者少ク且異動アル毎ニ極メテ圓滑ニ有資格教
 員ノ任用ヲナシツツアリ、待遇方法ニ於テモ亦良好ナリ
 生徒訓育ニ就テハ各校共從來ノ方針ニ則リ地方ニ適應スル實際農業者トシテノ人格
 的陶冶ニ努メ國民精神ノ涵養、自治的精神ノ啓發ニ力ヲ致シ穩健着實ニシテ責任觀念
 ヲ重シ勤勞奉公ノ精神ヲ養成シ常ニ生徒ノ個性ヲ捉ヘ家庭トノ連絡ヲ密接ニシ適
 切ナル教養ヲナシツツアリ
 修學旅行ニ關シテハ各地ニ於ケル優良學校、農場、農事試驗場其ノ他農業ニ關スル各種
 ノ場所ヲ實地ニ見學セシメ觀察力、理解力ヲ養成シ見聞ヲ廣カラシメ智育、德育、體育ノ
 發達ト相俟テ一層農業智識ト趣味ノ涵養ニ努メツツアルヲ以テ其ノ效果良好ナリ
 生徒學業ニ就テハ學科實習共ニ平素ノ勤惰竝成績ノ良否ニ留意シ常ニ周到ナル教授
 ト督勵ニ努メ尙成績不良ナル者ニ對シテハ特ニ父兄ニ其人ノ成績ヲ通知シ家庭ト相俟
 テ成績ノ向上ヲ計リツツアリ
 入學志願者ハ縣立、組合立ヲ通シ千六十八人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ八百三十
 八人之ガ入學率ハ七十八人強ナリ
 卒業生ノ就職狀況ハ大部分實業従事者ニシテ官吏、公吏等之ニ亞ギ上級學校ニ入學ス
 ル者モ年年増加シツツアリ
 實業界トノ連絡ニ就テハ努メテ學校ヲ開放シ卒業生ヲ督勵シ農業者ノ參觀ヲ爲サシ

可及的研究ニ資セシメ質疑ヲ爲サシメ又ハ農事相談各種農産物品評會ヲ開催シ農場視察、種子種苗、種豚ノ分譲等ヲナスヲ以テ逐年來校者増加ノ傾向ニアリ又各地ニ教員ヲ出張セシメ農業、蠶業ノ狀況ヲ視察セシメ講習講話會ヲ開催シ講師ノ派遣ヲナス等農業智識ノ普及發達ヲ圖ルコトニ常ニ努メツツアリ

商業學校ハ縣立四校ニシテ其ノ設備ニ就テハ各校共新校舍ヲ設立シテ完備シツツアルモ圖書、器械、標本ニ於テハ未ダ完備ノ域ニ達セズ年年之ガ改善補充ニ努メツツアリ教員ノ需要供給轉免ニ關シテハ比較的異動者少ク且異動者ヲ生ズル毎ニ有資格教員ノ採用ヲ圓滑ニ運ビツツアリ待遇方面モ亦良好ナリ

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ニ最モ重キヲ置キ之ガ養成ニ努メ正心誠意ヲ旨トシ士魂商才、實踐躬行ニ努メ輕操浮薄ノ行爲ノ矯正ニ努メ常ニ家庭及個性調査ヲナシ徳性ノ涵養ニ努メツツアリ

學業ニ就テハ常ニ教授法ノ改善ニ留意シ技術的學科ニ就テハ特ニ學科擔任者ニ於テ指導ヲ與ヘツツアリ又時時學級主任者ニ於テ家庭ヲ訪問シ或ハ必要ニ應ジテ父兄ノ來校ヲ求メ其ノ他生徒手帳ヲ利用シ父兄トノ連絡ヲ圖リツツアリ、修學旅行ニ關シテハ關西、關東、奥羽等各方面ニ旅行シ商業上必要ナル智識技能ヲ收得シ又ハ地理、歴史、人情、風俗ニ關シ研究ヲナシ會社、工場、大商店等ヲ見學シ實際商業界ノ智見ヲ與ヘル等裨益スル所尠カラズ

生徒實習ニ於テハ學科ノ教授ト連絡統一ヲ圖リ生徒ヲシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ作業ニ從事スル習慣ノ養成ニ努メツツアリ

入學志願者ハ六百四十二人ニシテ内入學ヲ許可シタルモノ三百六十二人ナリ之ガ入學率ハ五十六人強ナリ

卒業者ノ就職狀況ハ大部分實業從事者ニシテ官吏、公吏等ニ就クモノ及上級學校ニ入學スル者之ニ次ゲリ尙實業從事者ハ實業界ノ不振ニモ拘ラズ各銀行會社商店等ニ就職スルヲ得タリ

實業界トノ聯絡ニ就テハ常ニ銀行、會社、大商店方面トノ連絡ヲ保チ特ニ卒業生トノ連絡ヲ密接ニシ文書通信ノ方法ニ依リ在校生ヲ指導鞭撻シ又ハ時時實業界ノ名士ヲ招聘シテ講話ヲ求ムル等實社會トノ聯絡ヲ計リツツアリ

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ組合立一校、町立一校、私立一校ニシテ前年ニ比シ私立一校ヲ増加シタリ、其ノ設備ニ關シテハ銳意完備ニ努力シツツアリト雖經費ノ關係上器具、器械、圖書ノ補給的購入ニ止マリ積極的設備ヲ爲スニ至ラズ

教員ノ需要供給ニ關シテモ之ガ向上改善ニ努メ成ルヘク有資格者ノ任用ニ努メツツアルヲ以テ年年進步ノ氣運ニ向ヒツツアリ、生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ質朴從順ノ美風ヲ助長シ技能ノ發達ニ留意シ地方的、實際的女子タラシムル教養ニ意ヲ用ヒ勤勞、體驗ヲ重ンズルト共ニ他面ニ於テハ優美ナル情操閑雅ナル舉止ヲ保タシムルコトニ努メツツアリ

生徒學習指導ニ就テハ各科共參考書、器具、器械、標本等ノ不備ナル感アルモ教員ハ良ク

育ニ努メ學業ニ於テモ其ノ地ニ適切ナル實業科目ヲ課シ其ノ實績ヲ舉ゲムコトニ努メツツアリ入學志願者ニ關シテモ補習學校獎勵委員ヲ委囑シ入學出席ノ督勵ヲナシタリ

實業界トノ關係ハ常ニ實習地ニ於ケル作物栽培ニ注意シ地方ニ範ヲ示シ部落講演講習ニ教員出席シ實地指導ヲナス等其ノ實績ヲ舉ゲムコトニ努メタリ

盲學校及聾啞學校

盲學校ハ縣立一校、私立一校ニシテ聾啞學校ハ縣立一校ナリ其ノ設備ノ狀況ニ就キテハ年年最善ノ努力ヲ拂ヒ教授用器具、器械ヲ購入シ尙特殊教育ノ關係上特別教室ノ設置、教便物ノ充實ニ努メツツアルヲ以テ漸次整備ノ域ニ達シツツアリ

教員ノ需要供給ニツキテハ特殊教育ナルヲ以テ採用困難ナルモ小學校又ハ中等學校教員中ヨリ適當ナル者ヲ選定シツツアリ、待遇ニ關シテハ斯種教育ハ教員ノ熟練ト犧牲的精神トヲ最要ノ條件トスルヲ以テ常ニ向上ヲ計リツツアリ

生徒訓育ニ就テハ個性ノ調査ヲ周密ニシ特ニ盲聾啞者トシテノ通有缺陷ノ矯正ニ努メ一面個性ノ特質ニ應シ個別的指導ニ力ヲ致シ將來有用ナル國民ノ養成ニ努力シツツアリ學業ニ關シテハ教授法ノ改善ニ留意シ教材ノ研究ヲナシ實物模型或ハ實地ノ動作ニ訴ヘ或ハ觸接摸索セシメツツアルヲ以テ一般ニ良好ナリ

生徒失官原因ヲ區別スレバ次ノ如シ

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等部			中等部			初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
經消耗症	—	—	—	2	1	3	—	—	—	2	—	2
色素性網膜炎	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
視網實質炎	—	—	—	4	3	7	—	—	—	5	—	5
近視	—	—	—	5	—	5	—	—	—	—	—	—
トラホーム	1	—	1	3	1	4	—	—	—	—	—	—
疹	—	1	1	4	—	4	—	—	—	—	—	—
外傷	1	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—
漏眼	1	1	2	3	—	3	—	—	—	—	—	—
先天性	1	2	3	3	1	4	—	—	—	—	—	—
眼	2	—	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—
膜炎	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
炭潰瘍	—	—	—	2	2	4	—	1	1	1	—	1
白症	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
計	6	5	11	28	10	38	—	1	1	8	—	8

失官原因	茨 城 縣		聶 縣		學 校	
	初 等 部		中 等 部		部	
	男	女	計	男	女	計
腦 膜 炎	4	2	6	—	—	—
中 耳 炎	2	1	3	—	—	—
麻 疹	1	—	1	—	—	—
先 天 性	23	19	42	3	—	—
未 詳	—	—	—	1	—	—
計	30	22	52	4	—	—

生徒卒業後ノ狀況ニ關シテハ盲學校ニアリテハ何レモ鍼灸、按摩、マツサージ業ヲ開業シ、聶縣學校ニアリテハ其ノ多クハ家事手傳ヲナシツツアリ

各 種 學 校

各種學校ハ總數四十校ニシテ何レモ私立ナリ内中學校ニ類スルモノ三校、高等女學校ニ類スルモノ二校、實業學校ニ類スルモノ二十三校其ノ他十二校ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ三校ヲ減少セリ

其ノ設備ニ就キ記スレバ中ニハ設備完全ナルモノアルモ多クハ個人經營ニ係ルヲ以テ維持困難ニシテ其ノ設備充分ナラザルモノアリ然レドモ相當教員ヲ有シ良ク各校校則ニ依リ教授法ノ研究ヲナシ教授用具ノ改善充實ニ努メツツアルヲ以テ漸次成績向上ノ狀況ニアリ入學志願者モ年年増加シ地方青年處女教導ノ爲裨益スル所多シ

學 校 園 及 植 栽

學校園ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校共學園ノ未設置ナルモノナク之ガ整備ヲ期シツツアリ學林ハ概ネ山間部ノ學校ニ於テ設置シアリ中ニハ廣大ナル面積ヲ有スルモノアリテ其ノ成績良好ナリ而シテ學園學林ハ受持教員指導ノ許ニ生徒兒童ヲシテ直接植栽手入等ニ當ラシメツツアルヲ以テ教授上又訓育上ニ效果ヲ及ボスモノ頗ル多大ナルヲ認ム

教員檢定及免許狀授與

小學校教員ノ檢定試験ハ毎年二回、無試験ハ隨時之ヲ施行セリ而シテ本年度ニ於ケル檢定總員數ハ男六百七十七人、女百九十二人ナリ内合格者男八十九人、女四十人ナリ其ノ他師範學校卒業ニ依ルモノ男百四十人、女百二人ニシテ免許狀授與總人員ハ男百四十人、女百二人ニ達セリ

教科用圖書

本年度ニ於ケル教科用圖書ノ需要供給ニ關スル狀況ハ概ネ成績良好ナリ

圖書館

圖書館ハ公立五十一館、私立四十二館、計九十三館ニシテ前年ニ比シ増減ナシ而シテ其ノ設備ノ狀況ハ漸次諸般ノ設備ニ改善ヲ加ヘ發達ヲ圖リツツアリト雖閱覽人員ノ激增ニ伴ヒ狹隘ヲ告ゲ適切ナル設備ヲ施ス能ハズ其ノ他ノ圖書館ニ在リテモ概シテ完全ナリト言フヲ得ズ圖書冊數ハ十五萬九千九百二十一冊閱覽人員三十四萬一千八百四十一名ナリ巡回文庫ノ設備ヲナスモノ二館ニシテ他ハ簡易圖書館多ク青年團ノ經營ニ係ルモノ又ハ學校ニ附設セルモノアリ地方改善通俗教育上裨益スル所多シ

教育參考館

教育參考館ハ大正天皇ノ御即位大禮ヲ記念シ社會教育及學校教育ニ資スル目的ヲ以テ設置シタルモノナリ陳列品ノ總數ハ三千七百二十八點ニシテ主ナルモノハ剝製動物標本、植物及礦物標本、織物類、電氣機械、其ノ他機械器具、模型等何レモ理學、工學、歴史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ

閱覽人員ハ五萬六千四百二人ニシテ一日平均百六十八人弱ニ當ル團體組數ハ百三十五組ナリ其ノ種類別ハ學生生徒兒童最モ多ク各種團體及一般人之ニ次ギ成人及婦人ノ來館者又近來一層増加ノ傾向ニアリ社會教育上裨益スル所多キヲ認ム

教育品展覽會ハ開會回数二百十三回開會日數四百四十九日ニシテ父兄懇話會學藝會其ノ他教育的會合ヲ利用シ同時ニ生徒兒童ノ成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ縱覽ニ供シ又家庭トノ連絡及向學心ノ振興ヲ圖リ教育上好影響ヲ及ボス所尠カラズ

常陽明治記念會

常陽明治記念會ハ財團法人ニシテ伯爵田中光顯ノ寄附ニ係リ明治天皇御尊像其ノ他ノ寶物ヲ基本トシテ寄附行爲ヲ以テ組織セラレ事業ノ大要トシテハ明治天皇ノ偉業盛德ヲ永久ニ記念感戴シ國民信仰ノ一大標準タラシムベク附屬明治記念館ヲ建設開館シタリ而シテ明治天皇ノ偉業盛德ヲ慕ヘテ來館スルモノ多ク昭和七年度ニ於テハ二萬五千十人ヲ數ヘリ

青年團

青年團ニ就キテハ時代ノ進展ト青年ノ自覺トニ依リ各市町村トモ之ヲ設置シ男青年

團ハ三百八十一團ニシテ各町村聯合シテ郡青年團ヲ組織シ更ニ縣青年團ニ統一セラレ會員五萬五千八百六十三人ヲ有ス之ガ教養指導ニ就キテハ社會教育主事專ラ之ニ當リ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ稽ヘ又地方ノ實際ニ徴シ夫々適切ナル施設ヲナシ殊ニ體育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就キテハ青年大會、體育指導者講習會、青年幹部講習會ヲ開催シ身體ノ鍛練ト精神ノ修養ニ資スル所大ナリ

郡市及町村青年團ニ於テモ學校職員、青年團幹部、地方有志等各種修養施設ヲナシ其ノ主ナルモノハ辯論會、講演會、講話會、中堅青年講習會、圖書館ノ開設、會報ノ發行、道路改修、勤儉貯蓄ノ實行、補習教育、青年訓練所ノ就學獎勵等心身ノ修養鍛練社會奉仕ノ爲殆ト其ヲ撥ラーニシツツアリ女子青年團ニ於テモ團數三百八十五團體ヲ有シ團員三萬七千六百七十二人ニ達ス縣聯合女子青年團ハ創立日尙淺キ爲男青年團ニ比シ遺憾ノ點ナシト言フヲ得ザレドモ斯道向上ノ爲努力シツツアルヲ以テ漸次改善セラレツツアリ其ノ主ナル事業ハ勤儉貯蓄、會報ノ發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、裁縫作法割烹等ノ講習會、講演會等ヲ開催シ良好ナル成績ヲ收メツツアリ

少年團

男女少年團ハ何レモ小學校ニ附設セラレ學校兒童ヲ以テ組織ス銳意其ノ本義ノ普及徹底ニ努メツツアル結果良好ノ域ニ達シツツアリ次ニ其ノ團體ヲ示セバ

	男	女	計			
			男	女		
團體數	21	3	—	77	—	101
正團員	十六歲未滿	582	12,673	10,756	14,715	11,338
	二十歲未滿	—	49	16	64	16
	計	2,057	582	12,722	10,772	14,779

本年度收入總額					本年度支出總額	
市町村費	團員賺出額	寄附金	其ノ他	計		
円 786	円 440	円 364	円 362	円 1,952	円 1,710	

而シテ其ノ主ナル施設ヲ舉グレバ就學獎勵、自習會、講演會、書籍ノ購讀、時ノ宣傳、交通、衛生、火防ノ宣傳、公德事業、軍事的訓練、交通整理、道路ノ改修等ナリ

茨城縣精神作興聯合會

茨城縣精神作興聯合會ハ國體觀念ヲ明徴ニシ國民精神ノ作興ヲ期スルト共ニ經濟生活ノ改善ヲ圖リ國力ヲ培養スルコトノ二大眼目ヲ標榜シ極力之ガ徹底ヲ期スベク文部省ノ高調セル教化動員ノ趣旨ニ基キ昭和四年九月二十四日茨城縣立水戸高等女學

校ニ於テ創立ヲ見タルモノナリ

本會ハ各郡市教化團體ニヨリテ組織セラレ其ノ事業ノ主ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

- 一 精神作興並生活改善ニ關スル協議會ノ開催
- 一 精神作興並生活改善ニ關スル講演會、講習會ノ開催
- 一 講師ノ派遣及斡旋
- 一 精神作興並生活改善ニ關スル調査研究及印刷物ノ發行
- 一 精神作興並生活改善ニ關スル映畫及展覽會等ノ開催
- 一 論文標語等ノ募集
- 一 篤功者及優良團體ノ表彰
- 一 其ノ他本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事業

民衆娛樂並生活改善

時運ノ進歩ト社會文化ノ發達スルニ伴ヒテ民衆生活ノ復雜化ヲ來シ健全ナル娛樂ノ切實ナル要求ト生活ノ改善ヲ緊要トスルニ至レルヲ以テ之ガ對應策トシテ映畫觀賞會、音樂會、各種演藝會ヲ開催シ一方ニ於テ時間尊重、時刻ノ勵行、冠婚葬祭等ノ陋習打破住宅改善、食料問題、衣服ノ改善等ニ關スル施設ヲナシツツアリテ其ノ效果尠カラザルモノト認ム

成人教育

成人教育ニ關シテハ從來縣下樞要ノ地ニ開催シ主トシテ修身公民科並ニ實業科ヲ課シツツアリシモ本年度ハ地方ニ於ケルモノハ之ヲ各郡ノ諸團體ノ主催トシテ開設セシメ水戸市ニ於ケルモノハ水戸高等學校ニ之ヲ開設セリ講師ハ同校教授之ニ當リ修身公民ニ關スルモノ、實業ニ關スルモノ、科學ニ關スルモノ等ヲ主トシ講習員九十人ヲ得タリ

教育會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下各郡市教育會ヨリ成リ其ノ事業ノ主ナルモノハ教員ノ講習會、教育講演會ノ開催、視察員ノ派遣、夜間中學ノ經營、教育上ニ於ケル諸問題ノ研究、教科書ノ調査編纂、機關雜誌兒童讀本ノ發行又ハ名士ヲ聘シ通俗講話會及夏期大學ヲ開催スル等一般教職員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學校及補習教育上裨益スル所頗ル多シ

本年度ニ於テ教員保姆講習會ノ開催ハ次ノ如シ

名 稱	主 催 者	講習員ノ資格	講習科目	講 師 數	講習日數	講習人員	講習證書 授與人員
小本正養成講習會	茨城縣教育會	尋正以下	教育科	3	6	413	249
全	全	全	音樂科	4	6	215	99
尋正養成講習會	全	全	物理化學科	1	6	66	60
全	全	全	地理科	1	6	46	42
夏 期 大 學	茨城縣教育會 及茨城西茨 城那珂鹿島各 郡教育會	中等學校及 小學校教員	思想問題	1	3	580	565
全	茨城縣教育會 及新治筑波各 郡教育會	全	教育問題	1	3	493	485
小本正養成講習會	茨城縣教育會	尋正以下	教育科	2	6	166	57
計	7	—	—	13	36	1,979	1,557

郡市教育會ハ郡市内教育關係者有志ヲ以テ組織シ經費ハ基本金ノ利子、市町村費ノ補助、會員ノ負擔及寄附金等ヲ以テ維持シツツアリ其ノ事業ハ就學獎勵、講習講話、圖書館ノ施設、雜誌ノ發行、學事研究視察、優良兒童ノ表彰、教育功勞者ノ表彰等ニシテ地方教育上貢獻シツツアリ

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ハ總數十二團體アリ内社團法人ニ係ルモノ八團體財團法人ニ係ルモノ四團體ナリ尙之ヲ種別スレバ學校ニ屬スルモノ三教育會七其ノ他二團體アリ

青 年 訓 練 所

青年訓練所ハ縣下各市町村ニ設置セラレアリ、現在數ハ公立三百九十五所、私立二所ナリ之ヲ前年ニ對比スレバ公立ニ於テ一町村一ヶ所ヲ主トスルヲ以テ一所合併セラレタリ而シテ實業補習學校ノ充當ニ就キテハ青年訓練所令ノ本旨ニ稽ヒ之ガ實施ニ當リテハ補習學校ト連携ヲ充分ニ保チ指導員モ補習學校職員ヲ囑託シアリ又私立青年訓練所ハ二所トモ工場ニ設置シアリ訓練生ハ其ノ工場へ雇傭セルモノヲ收容シ居ルガ爲入所出席共ニ其ノ歩合良好ニシテ訓練ノ實績亦優良ナリ

訓育ノ狀況ニ就キテハ學科ハ學校職員教練ハ在郷軍人タル指導員之ヲ擔當シ教練ニ關シテハ銃器ヲ購入セル訓練所増加シ其ノ經營ニ關シテハ細心ノ注意ト努力トヲ盡シツツアリ就中各訓練所ヲ聯合シ演習ヲ催スルモノ行軍、軍事視察、演習參觀其ノ他體育智識ノ發達、軍事思想ノ修得ニ努メツツアリ、出席獎勵ニ就キテハ可成年中持續的ニ訓練ヲ施ス様教育ノ豫定ヲ立案シ農繁期ト雖モ必ズ一週二回ノ召集訓練ヲ實施スル様勸誘シ目下ノ狀況ハ主トシテ學科ハ夜間ニ教練ハ通年的ニ晝間實施シアリ入所及退所ノ狀況ハ良好ナル成績ヲ示シ教練査閱ノ結果ハ其ノ成績亦大ニ良好ナルヲ認メ

ラル

學事ニ關スル講習及旅行

(1) 教員講習ハ縣主催六回開催シ講習日數三十六日講習員一千九百七十九人ニシテ各科共實際的研究ヲナシ孰レモ相當效果ヲ收メタルモノト認ム

(2) 學校長教員保姆ノ學事研究並視察ニ關スル旅行ノ狀況ニ就キテハ其ノ教授ノ徹底訓育ノ完全ヲ期スル爲經費ノ許ス限リ努メテ各科教授研究訓育ノ狀況ヲ管内及管外ノ學校ニ出張シ經營施設ノ狀況並實際等ヲ視察シタルヲ以テ相當其ノ實益ヲ收メ得タルモノト認メラル旅行調次表ノ如シ

		市町村立 小學校	公立 師範學校	公立 中學校	公立高等 女學校	公立 實業學校	公立實業 補習學校	公立農業 補習學校 養成所	公立 盲學校	公立 聾啞學校	公立 幼稚園
管内	人日	3,079	42	112	98	142	308	—	—	—	4
	員數	14,558	142	323	304	594	905	—	—	—	22
	旅費總額	—	318	1,064	502	1,817	—	—	—	—	—
	縣費	73	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	市町費	25,590	—	—	342	10	1,936	—	—	—	2
	村會費	423	—	—	—	—	4	—	—	—	—
	教育會費	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	研究部會費	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	教授會費	—	—	150	—	—	—	—	—	—	—
	後援會費	96	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	修養會費	—	—	—	342	137	—	—	—	—	—
組合會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
女教員會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
友誼會費	—	—	173	—	—	—	—	—	—	—	
校友會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	26,224	360	1,387	1,186	1,964	1,940	—	—	—	7	
管外	人日	511	2	26	17	34	19	—	—	—	3
	員數	1,533	10	89	74	178	56	—	—	—	17
	旅費總額	—	36	361	115	667	—	—	—	—	—
	縣費	180	—	—	—	—	—	—	—	—	24
	市町費	2,832	—	—	149	—	162	—	—	—	—
	村會費	1,165	—	—	—	—	5	—	—	—	—
	教育會費	48	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	研究部會費	—	—	42	—	—	—	—	—	—	—
	教授會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	後援會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	修養會費	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
組合會費	160	—	—	—	—	—	—	—	—	16	
女教員會費	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
友誼會費	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	
校友會費	—	—	—	28	—	—	—	—	—	—	
計	4,405	46	403	292	667	169	—	—	—	46	
管内	人日	733	29	59	68	26	16	—	2	3	13
	員數	4,438	191	456	499	344	76	—	21	17	38
	旅費總額	—	868	1,756	1,774	1,074	—	—	87	106	—
	縣費	60	—	—	—	—	—	—	—	—	24
	市町費	8,119	—	—	262	—	191	—	—	—	60
	村會費	850	—	—	—	—	5	—	—	—	—
	教育會費	265	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	研究部會費	35	—	170	—	—	—	—	—	—	—
	教授會費	—	—	156	—	—	—	—	—	—	—
	後援會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	修養會費	66	—	—	—	276	—	—	—	—	—
組合會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
女教員會費	10	70	—	32	—	—	—	—	—	—	
計	9,405	938	2,082	2,102	1,350	196	—	87	106	84	

		市町村立 小學校	公立 師範學校	公立 中學校	公立高等 女學校	公立 實業學校	公立實業 補習學校	公立農業 學校 補習員養成所	公立 盲學校	公立 聾啞學校	公立 幼稚園
樺太	人日	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅費總額	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	縣市町教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會費	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
朝鮮	人日	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅費總額	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	縣市町教育會費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	村會費	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	人日	4,325	73	197	183	202	343	—	2	3	
	旅費總額	20,575	343	868	877	1,116	1,037	—	21	17	
	縣市町教育會費	—	1,222	3,181	2,391	3,558	—	—	87	106	
	村會費	313	—	—	—	—	—	—	—	—	
	學校友會費	36,666	—	—	753	10	2,289	—	—	—	
	校友會費	2,438	—	—	60	—	14	—	—	—	
	女校員會費	—	52	—	—	—	—	—	—	—	
	後援會費	170	70	—	—	—	—	—	—	—	
	保證人會費	83	—	320	—	—	—	—	—	—	
	修養會費	—	—	371	—	—	—	—	—	—	
	研究會費	162	—	—	376	413	—	—	—	—	
	縣保會費	39	—	—	—	—	2	—	—	—	
	合計	288	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	40,159	1,344	3,872	3,530	3,981	2,305	—	87	106	

學校衛生

1、(イ)學校醫ノ設置シアル公私立學校、幼稚園、青年訓練所ニ就キ類別スレバ小學校五百十二校、師範學校二校、中學校十一校、高等女學校十八校、實業學校十七校、實業補習學校二十校、盲學校一校、聾啞學校一校、各種學校十六校、幼稚園九園、青年訓練所四十七所ニシテ兼務者多ク之ガ實人員ハ三百四十五人學校齒科醫ノ設置シアル公私立學校、幼稚園、青年訓練所ニ就キ類別スレバ小學校四十二校、師範學校二校、中學校十一校、高等女學校十二校、實業學校二校、實業補習學校一校、各種學校二校、幼稚園四園、青年訓練所一所ニシテ之ガ實人員ハ六十四人ナリ而シテ學校視察ノ狀況ハ定期検査ノ外「トラホーム」檢診治療寄生蟲及頭虱ノ驅除、口腔衛生ノ實施ニ盡力スルト同時ニ時々一般衛生ニ關スル講演會等ヲ開催シツツアルヲ以テ年々成績ノ向上ヲ示シツツアリ尙飲料水、寄宿舎等ニ就キテハ特ニ注意シ專ラ生徒ノ保健ニ努メツツアリ就中中等學校ニ於テハ比較的衛生設備シ居ルモ其ノ他ニ於テハ尙充分ト認メ得ザルヲ以テ一屬之ガ改善進歩ニ努メムトス

學校醫ノ實人員ヲ資格別ニ區別スレバ次ノ如シ

一、帝國大學醫科大學醫學科卒業者	一九人
二、官立醫學專門學校醫科及元高等學校並高等中學校醫學部選科卒業者	三人
三、元東京大學醫學部本科又ハ別科卒業者	一三二人
四、大阪府京都府愛知縣醫學校及府縣立甲種醫學校卒業者	一九人
五、東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科終了者	七人
六、其ノ他醫術開業免狀ヲ有スル者	一六五人
計	三四五人

(ロ)學校看護婦ハ學校衛生上並兒童生徒ノ健康上必要ヲ生ジ現在學校看護婦ヲ置ク學校七校看護婦七人手當一千八百十六圓ヲ支給シ衛生保健上效果多シ

2、衛生設備教授衛生體育運動ニ關スル狀況

(イ)衛生設備ニ就キテハ先ツ校地ノ選定及校舍ノ建築等ニ校醫ト協調ヲ遂ゲ其ノ他屋外體操場、便所、水呑所、井戸、寄宿舎、教授用器具器械等ノ改善ニ留意シツツアリ

(ロ)教授衛生トシテハ通學最遠里程及方法學級人員授業時間後ノ休息睡眠時間等ニ留意シ尙每學期一回以上座席交換最前列兒童ト教壇トノ距離、机ノ配列、机腰掛ノ位置釣合季節的時間割ノ變化劣等兒教育病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シ努メツツアリ

(ハ)體育運動ノ振興ニ關シテハ逐年其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校體育聯盟及指導者體育聯盟等ヲ組織シ最近男子中等學校ニ於テモ之レガ實現化セラレムトシアリ相當運動獎勵ニ努メ各校共運動デーヲ設ケ運動會ヲ開催多數校聯合シ試合及運動會ヲ開催スル等相當效果ヲ收メツツアリ

3、職員生徒兒童ノ健康狀況ニ關スル狀況

(イ)教員疾病ニ依リ退職休職死亡者ハ次ノ通りニシテ概シテ少ク良好ナル成績ヲ舉ゲツツアリ

	退 職 者	休 職 者	死 亡 者
學校教員	29	27	16
講習學校教員 (專任者)	—	—	—
中等學校職員	3	1	—
計	32	28	16

(ロ)生徒兒童ノ健康狀況ノ優良ナラサルモノノ其ノ主タル病類別ヲ見ルニ齲齒、トラホーム、寄生虫、扁桃腺肥大、脊柱後彎等ニシテ校醫モ之ガ豫防及加療ニ就キテハ相當盡力セラレツツアリ

4、發病豫防及治療施行ノ狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身體ニ異狀アル者ニ對シテハ直ニ校醫ノ診療ヲ求メ其ノ病狀ニ依リ入院又ハ歸宅治療ヲ命スル等萬遺憾ナキヲ期シツツアリ

5、學校給食ニ關シテハ貧困兒童ニ辦當ヲ給シ又ハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル學校モアリ

縣會及市町村會

縣市町村會ニ於ケル學事ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ近時經濟界ノ不況ニ伴ヒ極度ノ緊縮ニ迫ラレツツアル今日ニ於テモ克ク協賛ヲ與ヘ他ノ事項ノ如ク漫リニ削減スルコトナク穩當ノ決議ヲナシツツアリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ書記官一名地方事務官一名地方視學官一名學校衛生技師一名社會教育主事一名體育運動主事一名視學七名屬九名社會教育主事補二名實業教育主事一名雇五名ナリ市ニアリテハ書記二名ナリ

本年度學事視察ハ視學官、師範學校長、視學ハ專ラ學校ノ設備教授訓練養護ノ可否並教育事務ノ整否ヲ社會教育主事及社會教育主事補ハ專ラ青年訓練所、青年團、女子青年團等ノ施設經營ノ狀況ヲ視察シ實業教育主事ハ補習學校ニ關シ學校衛生技師ハ專ラ學校衛生ニ關スル視察ヲナセリ而シテ小學校ニ就キテハ詳密視察、概要視察ノ外教授ニ亙リ視學ヲシテ徹底的ニ視察ヲナサシメタリ

又市町村ニ於テハ三名乃至二十名ノ學務委員ヲ置キ夫々區内ノ教育事務ニ關シテハ勿論市町村長ヲ補佐シ機會アル毎ニ學校ニ臨席シ諸般ノ設備其ノ他ニ關シ委員會ヲ開キ就學出席ノ督勵ニ努メ相當活動ヲナシツツアリ

本年度學事關係職員並師範學校長學事視察ノ狀況ハ次表ノ如シ

	長官		學務		視學官		地方		視學		屬	社會教育主事		實業補習教育主事		學校衛生技師		師範學校長		計						
	知事		部長		官		事務官		學			主事		主事		師		長		回數		日數				
	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數		回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	回數	日數	延數	實數	延數	實數	
小學校	—	—	8	6	8	9	4	4	29	1	459	—	—	3	3	16	27	18	28	5	5	560	353	570	5	
師範學校	I	I	I	I	3	3	I	I	I	I	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	9	9	9	
中學校	I	I	4	3	9	10	7	6	18	13	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	48	41	36	
高等女學校	I	I	2	I	11	9	7	6	14	11	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	—	44	37	31	
實業學校	—	—	5	5	14	14	14	13	17	18	—	—	2	2	5	7	I	I	—	—	—	—	65	58	63	
實業補習學校	—	—	I	I	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7	36	85	—	—	—	—	—	—	79	44	93	
實業補習學校 教員養成所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
盲學校	—	—	—	—	I	I	I	I	I	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3
聾啞學校	—	—	—	—	I	I	I	I	I	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3
各種學校	—	—	I	I	I	I	2	2	I	I	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	5
青年訓練所	—	—	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	15	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	19	22
幼稚園	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	延數	3	3	26	22	58	50	41	34	534	530	—	—	29	30	100	119	41	40	5	7	837	—	835	—	
	實數	3	3	26	22	48	48	37	34	344	505	—	—	27	30	57	119	25	35	5	5	—	572	—	80	

學 事 獎 勵

學事獎勵ニ關シテハ從來ノ施設ヲ繼承シ本年度ニ於テハ實業學校、實科高等女學校、男女青年團、實業補習學校、青年訓練所、私立學校、教育會等ニ對シ補助金ヲ交付シ教育功勞者及優良學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困兒童ノ爲就學シ得ザル兒童ノ保護救濟上補助金ヲ交付シ其ノ他普通教育獎勵、學校衛生、體育獎勵等銳意教育ノ普及振興ニ努メタリ

將來學事施設上須要ノ件

- (イ)學校ノ設備改善竝内容ノ充實ヲ圖ルコト
- (ロ)就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救濟ヲ全ウシ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト
- (ハ)時代ノ趨勢ニ鑑ミ道德教育ノ向上ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト
- (ニ)高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完全シ學科擔任制ヲ加味シ内容ノ改善充實ヲ期スルコト
- (ホ)師範教育ノ改善竝設備内容ノ充實ヲ期スルコト
- (ヘ)中等教育機關ヲ改善シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト
- (ト)教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ服務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト
- (チ)通年制實業補習學校ノ設置ヲ獎勵シ専任教員ノ増加ヲ圖リ又季節制ノ改善ニ努メ長所ヲ益々發揮セシムルコト
- (リ)補習學校教員養成機關ノ整備ヲ圖ルコト
- (ヌ)青年訓練ノ徹底ヲ期スルコト
- (ル)青年團及女子青年團、少年團ノ振作發展ヲ圖ルコト
- (ヲ)成人教育、公民教育ノ振興發達ヲ期スルコト
- (ワ)各種教化團體ノ振興ヲ圖リ其ノ他完全ナル自治ヲ期スルコト

公 學 費 及 公 學 資 産

昭和七年度ニ於ケル公學費總額ハ六百八十七萬七千九百七十四圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ百三十萬千四百七十六圓、市經濟ニ屬スルモノ二十五萬八千三百八十八圓、町村經濟ニ屬スルモノ五百三十一萬八千百十圓ナリ、之ヲ前年度ニ對比スレバ總額ニ於テ十九萬三千七百三十圓乃チ二分八厘強ノ減少ヲ示セリ
其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費		支 出	
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 較	
			増	減
縣	1,633,388	1,301,476	—	331,912
市	206,382	258,388	52,006	—
町	5,231,934	5,318,110	86,176	—
計	7,071,704	6,877,974	—	193,730

尙種別ニ依リ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費 支 出 額			
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 比	
			増	減
小 學 校	4,752,590 ^円	4,874,240 ^円	121,650 ^円	— ^円
師 範 學 校	216,856	180,520	—	36,336
中 學 校	492,407	384,278	—	108,129
高 等 女 學 校	322,563	315,992	—	6,571
實 業 學 校	817,630	654,955	—	162,675
實 業 補 習 學 校	7,833	—	—	7,833
教 員 養 成 所	7,800	7,084	—	716
盲 學 校	7,066	6,497	—	561
圖 書 館	13,757	11,256	—	2,509
教 育 參 考 館	1,764	1,555	—	209
青 年 訓 練 所	129,972	135,388	5,416	—
其 他	301,466	306,209	4,743	—
計	7,071,704	6,877,974	—	193,730

而シテ増減ノ主タル事由ハ縣公學費ノ各項目ニ於テ減少シタルモノニシテ其ノ著シキモノハ圖書器械標本費、器具費、消耗品費ノ節約ニ依ルモノト學生生徒兒童給費ノ減額及農業補習學校教員養成所ノ休校ニ依ル

公學費收入總額ハ三百六十三萬二千三百三十一圓ニシテ縣經濟ニ屬スルモノ七十五萬七千八百十圓、市經濟ニ屬スルモノ七萬七千九百三十四圓、町村經濟ニ屬スルモノ二百七十九萬六千五百八十七圓ナリ之ヲ前年度ニ對比スレバ二十六萬三千九百四十四圓乃チ七分三厘弱ノ増加ヲ示セリ

其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレバ次表ノ如シ

	公 學 費 收 入 額			
	前 年 度	本 年 度	前 年 度 = 比 比	
			増	減
縣	794,092 ^円	757,810 ^円	— ^円	36,282 ^円
市	76,347	77,934	1,587	—
町 村	2,497,948	2,796,587	298,639	—
計	3,368,387	3,632,331	263,944	—

而シテ増減ノ主タル理由ハ縣費補助及國庫補助ノ増額ニ依ル

學校基本財産ハ現金預金及有價證券ニ於テ總額百二十六萬二千四十三圓ニシテ內縣ハ三十萬四千二百二十九圓、市ハ二萬五千四圓、町村ハ九十三萬二千八百十圓ナリ、土地

ハ總坪數二百萬四千六百一十一坪ニシテ其ノ價額ハ五十六萬二千八百八十四圓ナリ、建物ハ三十八坪ニシテ價額六百八十五圓ナリ、積立金ハ十一萬八千二百三圓アリ之ヲ前年度ニ對比スレバ現金預金有價證券ニ於テ六千五百七十九圓ヲ減ジ土地ニ於テ二萬三千一百四十一坪價額三萬七千九百五十九圓ヲ減ジタリ建物ハ本年新ニ生ジタルモノナリ積立金ハ六萬千五百十二圓ノ減少ヲ示シタリ而シテ之等金額ノ管理ニ就テハ確實ナル銀行預金最モ多ク有價證券、郵便貯金之ニ次ギ何レモ適當ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中田、畑ハ貸付シ森林、原野ハ植樹ノ方法ヲ講ズル等收益ノ増加ニ努メツツアリ

教育資金

本年度ニ於ケル貸付金額ハ一萬二千六百圓ニシテ戻入額ハ一萬七千二十一圓七十八錢ナリ、小學校教育獎勵普及改善ノ爲支出シタル普通教育獎勵費ハ三千六百四十四圓五十九錢ニシテ小學校教員疾病療治料ハ千八百二十圓支給人員十人ナリ、本年度内ニ資金ヨリ生ズル收入ハ四千九百六十四圓二十二錢ナリ而シテ本年度末現在貸付金額ハ七萬九千六百八十九圓十五錢ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年 御下賜アラセラレタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ年年縣ニ於テ相當金額ヲ資金ニ編入シ之ヨリ生ズル收入ヲ以テ兒童就學獎勵施設ヲナシタル市町村及貧困兒童救濟施設ヲナシタル市町村ニ對シ本年度ニ於テ三萬七百二十三圓三錢ヲ補助シ施設ノ普及發達ニ努メタリ

男女青年團體事業獎勵資金

大正十四年 御下賜アラセラレタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之ニ年年縣ニ於テ相當金額ヲ資金ニ編入シ之ヨリ生ズル收入ヲ以テ本年度ニ於テハ獎勵金千二百七十八圓、其ノ他公益團體ニ對スル補助金二千二百十四圓ヲ支出シ體育指導及男女青年團體各種事業ノ指導獎勵ニ努メタリ

市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額十一萬四千七百四十五圓二十五錢ニシテ年功加俸支給金額九萬五千八百三十四圓四十四錢特別加俸四千七百九十二圓九十一錢恩給金納金九百八十九圓七十六錢ヲ支出シ差引差額一萬三千二百二十八圓十九錢ヲ翌年度ニ繰越シタリ

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ總額六萬三千三百二十七圓十九錢ニシテ加俸支出額ハ六萬二千五百十二圓九十八錢國庫納金五百三十二圓三十錢恩給金納金八十九圓七十七錢ヲ支出シタリ而シテ差額百九十二圓十四錢ハ翌年度ニ繰越シタリ

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

茨城縣獎學資金ヨリ學事獎勵ノ爲メ本年度ニ於テ師範學校獎勵費二十一圓中等學校獎勵費百七十五圓八十九錢織田勸農費百十九圓ヲ支出シ、縣立各學校優良生徒ヲ

表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ、本年度末現在高ハ八千二百二十五圓八錢八厘ナリ
 徳川獎學基金ハ中等學校研究獎勵費二百三十圓、小學校研究獎勵費百五十圓、小學校
 研究物調査費八十圓ヲ支出シ中等學校及小學校教育ノ研究獎勵ニ充テタリ、本年度
 末現在高ハ二萬六千九百六十二圓四十錢ナリ
 茨城縣體育獎勵基金ハ獎勵費三千二百十四圓八十六錢補助費二百七十圓ヲ支出シ
 斯道獎勵ノ爲メ努メツツアリ、本年度末現在高ハ一萬八千四百四圓二十二錢ナリ
 市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金
 市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度ニ於テ管内各市町村ニ交付セラレタル
 金額ハ二百四十四萬九千七百八十八圓ニシテ其ノ大部分ハ教員ノ俸給ニ充當シタ
 ル金額ニシテ住民ノ負擔輕減之ニ次ギ市町村經濟ヲ緩和シタルコト多大ナリト認
 ム之ガ支途ヲ種別スレバ次表ノ如シ

種別	市	町	村	計
教員俸給ニ充當シタル金額	38,162 ^円	516,868 ^円	1,329,039 ^円	1,884,069 ^円
教員増俸ニ充當シタル金額	—	1,735	6,460	8,195
教育施設改善ニ充當シタル金額	—	23,152	61,651	84,803
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—	136,234	289,495	425,729
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	4,462	42,530	46,992
計	38,162	682,451	1,729,175	2,494,788

公學費及公學資産増減理由

縣本年度支出總額ハ百三十萬千四百七十六圓ニシテ前年ニ比シ三十三萬千九百十二圓ノ減少ヲ示セリ、之ガ主タル事由ハ圖書器械標本費器具費ノ節約ト農業補習學校ノ休校及學生生徒兒童給費ノ減額ニ依ル收入總額ハ七十五萬七千八百十圓ニシテ前年度ニ比シ三萬六千二百八十二圓ヲ減ジタリ其ノ主タルモノハ寄付金學校基本財産ヨリ生ズル收入、國庫補助ノ減少シタルニ依ル土地ノ敷地三百五十三坪ヲ増シタルハ取手農學校ノ購入ニシテ附屬地七百二十坪増シタルハ龍ヶ崎高女ノ同窓會ヨリ寄付ト取手農學校ノ購入ニ依ル、建物坪數ニ於テ教場六十六坪減ジタルハ下館商業、古河商業ニ於テ増加シタルモ日立中學校ノ模様換ノ結果減ジタリ、其ノ他六百四十坪増シタルハ下館高女ノ同窓會ヨリ寄付ト結城、取手、大子ノ各農學校、下館、古河兩商業ノ増築ニ依ル、土地價額乃至器具價額ニ於テ六萬四千十圓ヲ増シタルハ圖書器械標本器具ノ自然増加ニ依ル

市本年度支出總額ハ二十五萬八千三百八十七圓ニシテ前年度ニ比シ五萬二千五百十四圓ノ増加ヲ示セリ其ノ主タル原因ハ各學校ノ新營ニ依ル收入總額ハ七萬七千九百三十四圓ニシテ前年度ニ比シ千五百八十七圓ノ増加ヲ見タリ其ノ原因ハ國庫交付金ノ多カリシニ依ル土地坪數ニ於テハ敷地二千四百三十一坪附屬地二千九百七十七

坪尋常高等學小校ニ於テ購入増加シタリ、建物坪數ハ教場ニ於テ八十一坪減ジタルモ其ノ他ニ於テ二百九十八坪ノ増加ヲ見タリ、土地價額乃至器具價額ニ於テ十九萬三千百三十九圓ノ増加ヲ見タルハ主トシテ土地購入ト校舍ノ改築ニ依ル

町村本年度支出總額ハ五百三十一萬八千百十圓ニシテ前年度ニ比シ八萬六千百七十六圓ノ増加ヲ示セリ其ノ主タル原因ハ新營費ト修繕費及生徒兒童給費ノ増シタルニ依ル收入總額ハ二百七十九萬六千五百八十七圓ニシテ二十九萬八千六百三十九圓ノ増加ヲ示セリ其ノ主タル原因ハ國庫交付金寄付金ノ多カリシニ依ル公學資産ノ土地ニ於テハ敷地九千五百五十九坪増シタルモ附屬地ニ於テ千九百一坪ヲ減ジタリ、建物坪數ニ於テハ教場四千六百八十五坪其ノ他三百八十坪増加シタリ土地價額乃至器具價額ニ於テ八十三萬九千八百九十七圓ノ増加ヲ見タリ學校基本財産ノ現金預金ハ四千五百三十一圓増加シタルモ有價證券ハ一萬八千九百三十圓減ジ土地ハ二萬五千六百十五坪、價額三萬八千四百九圓ノ減少ヲ示セリ、建物ハ本年新ニ生ジタルモノニシテ積立金ハ校舍新築ノ結果六萬一千六百二十一圓ノ減少ヲ示セリ